

様式第1号

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県文化振興事業団

理事長 石田 知子 様

住 所

フリガナ

名 称

代表者 職・氏名

(電話番号 )

助 成 金 交 付 申 請 書

公益財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金の助成を受けたいので、関係書類を添えて、次のとおり助成金の交付を申請します。

記

1 申請対象事業  ※ 該当する事業1つに☑を記入して下さい。	<input type="checkbox"/> 文化活動成果発表事業	<input type="checkbox"/> 各種大会等参加事業	
	<input type="checkbox"/> 文化活動研修事業	<input type="checkbox"/> 文化団体備品整備事業	
	<input type="checkbox"/> 刊行物発行事業	<input type="checkbox"/> 文化団体結成促進事業	
	<input type="checkbox"/> 被災団体備品整備事業	<input type="checkbox"/> 被災文化団体活動支援事業	
	<input type="checkbox"/> いわて芸術家派遣事業	<input type="checkbox"/> アートマネージャー育成事業	
	<input type="checkbox"/> 若手芸術家・民俗芸能後継者等育成事業	<input type="checkbox"/> 障がい者芸術活動支援事業	
2 助成対象事業名			
3 助成金交付申請額	円		
4 添付書類	(1)当該事業の実施計画書(付表 ) (2)当該事業の収支予算書(付表 ) (3)その他参考資料		
5 申請担当者  ※確認事項等が発生した場合に直接ご対応いただける方の連絡先を記載してください。	氏名		
	住所	〒	
	TEL		FAX
	e-mail		

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県文化振興事業団

理事長 石田 知子 様

住 所

名 称

代表者 職・氏名

助成事業変更承認申請書

令和 年 月 日付け公財岩文総第 号で助成金の交付決定を受けた事業について、  
次のとおり変更したいので、承認して下さるよう申請します。

記

1 申請対象事業

2 助成対象事業名

3 助成金の交付決定額 金 円

4 変更後の助成金の交付希望額 金 円

5 添付書類

(1)実施計画の変更内訳書(付表6)

(2)収支予算の変更内訳書(付表7)

(3)その他参考資料

申請担当者	
氏名	
連絡先	〒 電話( ) - FAX( ) - e-mail:

※確認事項等が発生した場合に直接ご対応いただける方の連絡先を記載してください。

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県文化振興事業団

理事長 石田 知子 様

住 所

名 称

代表者職・氏名

助成事業中止届出書

令和 年 月 日付け公財岩文総第 号で助成金の交付決定を受けた事業を中止するので、次のとおり届出します。

記

1 申請対象事業

2 助成対象事業名

3 助成金の交付決定額 金 円

4 中止の理由

(関係書類添付のこと。)

申請担当者	
氏名	
連絡先	〒 電話( ) - FAX( ) - e-mail:

※確認事項等が発生した場合に直接ご対応いただける方の連絡先を記載してください。

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県文化振興事業団

理事長 石田 知子 様

住 所

名 称

代表者職・氏名

助成事業実績報告書

令和 年 月 日付け公財岩文総第 号で助成金の交付決定を受けた事業を完了したので、次のとおりその実績を報告します。

記

1 申請対象事業

2 助成対象事業名

3 助成金の交付決定額 金 円

4 添付書類

(1)当該事業の実施内訳書(付表1又は4に準ずる。)

(2)当該事業の収支決算書(付表2又は5に準ずる。)

(3)その他参考資料

申請担当者	
氏名	
連絡先	〒 電話( ) - FAX( ) - e-mail:

※確認事項等が発生した場合に直接ご対応いただける方の連絡先を記載してください。

令和 年 月 日

公益財団法人岩手県文化振興事業団

理事長 石田 知子 様

住 所  
名 称  
代表者職・氏名

助 成 金 交 付 請 求 書

令和 年 月 日付け公財岩文総第 号で交付決定のあった助成金について、次のとおり請求します。

記

- 1 申 請 対 象 事 業
- 2 助 成 対 象 事 業 名
- 3 助成金の交付決定額 金 円
- 4 すでに交付を受けた額 金 円
- 5 今回交付を請求する額 金 円
- 6 助 成 金 の 振 込 先

銀行 支店  
預金 口座番号No.

フリガナ  
預金名義

提出前に再度ご確認ください

- 申請者名義の預金口座ですか
- 通帳の写し(金融機関の名称・口座番号・  
口座名義が確認できる箇所)を添付しまし  
たか

申 請 担 当 者	
氏 名	
連 絡 先	〒 電話( ) - FAX( ) - e-mail:

※確認事項等が発生した場合に直接ご対応いただける方の連絡先を記載してください

付表1

事業実施計画書  
(実施内訳書)

1 事業の目的

2 事業の実施計画

(1) 事業の内容

(2) 実施時期(納品時期)

(3) 実施場所

(4) 参加者

(5) 主催・共催・後援団体等とその役割

(6) その他(過去の申請実績・団体の内容紹介・活動実績等・指定文化財の有無)

付表2

収 支 予 算 書			
( 収 支 決 算 書 )			
1 収入の部		単位:円	
区 分	予算額(決算額)	積 算 内 訳	
文化振興基金助成金			
入 場 料 収 入 等	入場料収入		
	参加費		
	その他の補助金 及び助成金		
	その他収入		(広告料、協賛金、寄付金等)
	小 計		
自己資金			
合 計			
2 支出の部			
区 分	予算額(決算額)	積 算 内 訳	
助 成 対 象 事 業 経 費			
	小 計		
助 成 対 象 外 事 業 経 費			
	小 計		
合 計			

付表3

## 申請団体備品保有状況

項目	必要数	現有数	購 入		修理	備考
			追加	更新		
〈例〉太鼓	3	3	0	1	1	締大鼓 1尺6寸
〈例〉着物	5	3	2	0	0	

※上記内容が記載されている既存資料がある場合は必ずしもこの様式によりません。



付表4

事業実施計画書  
(実施内訳書)

1 団体の概要

・継承する演舞等の名称 \_\_\_\_\_

・構成員数 \_\_\_\_\_人

(※名簿添付 紛失した場合は把握できる範囲で作成してください。)

・主な活動場所 \_\_\_\_\_

2 所有備品状況

品目	所有していた数	震災による被害		現有数	整備しようとする数	
		破損	喪失		修繕	購入

(※被害状況の調査を兼ねております。把握できる範囲で記載をお願いします。欄は適宜追加してください。)

3 その他(活動実績・活動計画・指定文化財の有無等)

付表5

収 支 予 算 書  
( 収 支 決 算 書 )

1 収入の部

単位:円

区 分	予算(決算)額	積 算 内 訳
文化振興基金助成金		
その他の補助金及び助成金		
寄付金		
自己資金		
計		

2 支出の部(見積書添付のこと)

区 分	予算(決算)額	積 算 内 訳
備品購入費		
(品名)		(寸法等記載のこと)
修繕費		
(品名)		(寸法等記載のこと)
計		

(※欄は適宜追加して下さい。)

付表6

実施計画の変更内訳書

1 変更する理由

2 変更する内容

項 目	変更前	変更後	摘 要

付表7

収支予算の変更内訳書

1 収入の部

区 分	変更前	変更後	積 算 内 訳
	円	円	
計			

2 支出の部

区 分	変更前	変更後	積 算 内 訳
	円	円	
計			

付表8

## 団 体 概 要 書

※応募事業ではなく、応募団体について記載して下さい。

(令和 年 月現在)

(ふりがな)			代表者		
団 体 名			職・氏名		
所 在 地	〒	電話番号			
		FAX 番号			
団体設立年月	年 月				
組 織 【審査基準:g】	役職員		団体構成員		
団体設立の 目的及び主 な事業実績 【審査基準:e.f】					
応募事業と 同種の過去 の事業実績 ※チラシ等活 動実績の分か る資料を添付 【審査基準:e.f】		事業名	実施時期	育成対象者 及びその人数	事業内容
	1				
2					
助成対象者 の 要 件 【審査基準:g】	1	規約を有している		はい・いいえ	
	2	代表者が明確である		はい・いいえ	
	3	総会等により決算報告している		はい・いいえ	
財 政 状 況 (単位:千円) 【審査基準:c.g】	年度	総収入	総支出	当期損益	累積損益
	R1年度				
	R2年度				

1 事業名													
2 実施期間													
3 項目別実施期間													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
育成対象者募集													
育成対象者選考・決定													
研修・ワークショップ													
制作													
公演・展示													
4 事業の趣旨・目的【審査基準:a】													
5 応募分野の現状・課題、求められている人材(ニーズ)等【審査基準:b】													
6 育成対象者の概要、決定方法等【審査基準:c】													
7 事業の具体的な内容、育成対象者の育成方法等【審査基準:c】													
8 応募事業に関連するこれまでの取り組み、成果等【審査基準:c.f】													
9 応募事業の今後の計画・発展性、応募分野にもたらす影響等【審査基準:d】													

付表 10【領収書添付資料】

領収書証明（旅費路程内訳書）

令和 年 月 日

住所：

氏名：

旅行日	出発地／名称	到着地／名称	路程(km)			車賃(円)	備考
			往路	復路	計		

- ・領収書を別に添付すること。
- ・路程図を別に添付すること。  
(※インターネットより取得のもので可)
- ・最短距離を記載すること。
- ・旅行日ごとに記載し、車賃は小数点以下を切り捨てた路程×単価(1kmあたり37円を上限とする)で算出すること。

上記路程について、相違ないことを証明する。

(申請団体名)

(代表者名)



令和 年 月 日

公益財団法人岩手県文化振興事業団

理事長 石田 知子 様

住 所

名 称

代表者職・氏名

事 前 着 手 届

令和 年度において、公益財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金助成事業の交付申請をしている別添の事業について、下記のとおり交付決定前に着手しますので、届け出ます。

なお、本件について交付決定がなされなかった場合、または交付決定を受けた補助額が交付申請額に達しない場合においても異議は申し立てません。

記

1 申 請 対 象 事 業

2 助 成 対 象 事 業 名

3 事 前 着 手 の 理 由 (事前着手が必要な理由を具体的に記載してください)

4 着 手 ( 予 定 ) 年 月 日 令和 年 月 日

※交付申請書の提出日以降の日付にしてください。

申 請 担 当 者	
氏 名	
連 絡 先	〒 電話( ) - FAX( ) - e-mail:

※確認事項等が発生した場合に直接ご対応いただける方の連絡先を記載してください。



《申請書記載例1》文化活動成果発表事業の場合  
様式第1号

令和〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人岩手県文化振興事業団

理事長 石田 知子 様

住 所 盛岡市内丸〇〇-〇

フリガナ イワテケイジツツハツピョウシツコウイインカイ

名 称 岩手芸術発表実行委員会

代表者職・氏名 会長 岩手 太 郎 印

(電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)

助 成 金 交 付 申 請 書

公益財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金の助成を受けたいので、関係書類を添えて、次のとおり助成金の交付を申請します。

記

1 申請対象事業  ※ 該当する事業1つに☑を記入して下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> 文化活動成果発表事業	<input type="checkbox"/> 各種大会等参加事業		
	<input type="checkbox"/> 文化活動研修事業	<input type="checkbox"/> 文化団体備品整備事業		
	<input type="checkbox"/> 刊行物発行事業	<input type="checkbox"/> 参加する文化活動推進事業		
	<input type="checkbox"/> 文化団体結成促進事業	<input type="checkbox"/> 被災団体備品整備事業		
	<input type="checkbox"/> いわて芸術家派遣事業	<input type="checkbox"/> アートマネージャー育成事業		
	<input type="checkbox"/> 若手芸術家・民俗芸能後継者等育成事業	<input type="checkbox"/> 障がい者芸術活動支援事業		
2 助成対象事業名	令和〇〇年度岩手芸術発表会			
3 助成金交付申請額	150,000 円			
4 添付書類	(1)当該事業の実施計画書(付表1) (2)当該事業の収支予算書(付表2) (3)その他参考資料 ・規約、会員名簿、総会資料、団体紹介資料			
5 申請担当者  ※確認事項等が発生した場合に直接ご対応いただける方の連絡先を記載してください。	氏名	基金 太郎		
	住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 岩手県〇〇市〇〇町〇-〇		
	TEL	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	e-mail			

事業実施計画書  
(実施内訳書)

1 事業の目的

県内の芸術文化団体が一堂に会し日頃の優れた芸術文化活動の成果を発表することにより、より多くの人に鑑賞の機会を提供し、県内における芸術文化の創造と発展に寄与するとともに、地域の文化活動の高揚に資する。

2 事業の実施計画

(1) 事業の内容

各種芸術文化団体による舞台発表

ア 演劇

イ 映像

ウ 伝統芸能(能楽、邦楽、茶道、華道、吟剣詩舞道)

エ 音楽(合唱、声楽、弦楽、三曲、吹奏楽、ピアノ、ギター)

(2) 実施時期(納品時期)

令和〇〇年6月12日(〇)

(3) 実施場所

岩手県民会館

(4) 参加者

出演者 演劇25名 映像15名 伝統芸能20名 音楽10名

観客 500名

(5) 主催・共催・後援団体等とその役割

共催 〇〇〇市(負担金)

後援 〇〇〇協会(名義使用)

協賛 株式会社〇〇(協賛金拠出)

(6) その他(過去の申請実績・団体の内容紹介・活動実績等・指定文化財の有無)

平成15年 15万円

平成13年 20万円

団体紹介等は、別添資料1、2のとおり

《申請書記載例2》文化団体備品整備事業の場合  
様式第1号

令和〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人岩手県文化振興事業団

理事長 石田 知子 様

住 所 盛岡市内丸〇〇-〇

フリガナ イワテシシオトリホゾンカイ

名 称 岩手獅子踊保存会

代表者職・氏名 会長 岩 手 二 郎 印

(電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

助 成 金 交 付 申 請 書

公益財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金の助成を受けたいので、関係書類を添えて、次のとおり助成金の交付を申請します。

記

1 申請対象事業  ※ 該当する事業1つに☑を記入して下さい。	<input type="checkbox"/> 文化活動成果発表事業	<input type="checkbox"/> 各種大会等参加事業	
	<input type="checkbox"/> 文化活動研修事業	<input checked="" type="checkbox"/> 文化団体備品整備事業	
	<input type="checkbox"/> 刊行物発行业業	<input type="checkbox"/> 参加する文化活動推進事業	
	<input type="checkbox"/> 文化団体結成促進事業	<input type="checkbox"/> 被災団体備品整備事業	
	<input type="checkbox"/> いわて芸術家派遣事業	<input type="checkbox"/> アートマネージャー育成事業	
	<input type="checkbox"/> 若手芸術家・民俗芸能後継者等育成事業	<input type="checkbox"/> 障がい者芸術活動支援事業	
2 助成対象事業名	備品整備事業		
3 助成金交付申請額	300,000 円		
4 添付書類	(1)当該事業の実施計画書(付表1) (2)当該事業の収支予算書(付表2) (3)備品保有状況(付表3) (4)その他参考資料 ・団体の規約、会員名簿 ・団体の総会資料、活動実績等の資料 ・購入予定品の見積書		
5 申請担当者  ※確認事項等が発生した場合に直接ご対応いただける方の連絡先を記載してください。	氏名	基金 太郎	
	住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 岩手県〇〇市〇〇町〇-〇	
	TEL	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	e-mail		

付表1

事業実施計画書

(実施内訳書)

1 事業の目的

岩手獅子踊は〇〇時代に始まりと言われ、〇〇宮の神事には悪魔降伏・五穀豊穰を祈願し、盆には先祖の供養として踊られ、現在に至る。

今後とも地域の小中高生への伝承活動により、後継者の育成を図り、保存会の活動を継続するため、老朽化した太鼓等を整備するものである。

2 事業の実施計画

(1) 事業の内容

劣化のため太鼓(中立用1尺6寸)を更新 1台

会員増のため衣装を新規購入(袴、大口、流し等) 4名分

破損した鹿頭を修理 4名分

(2) 実施時期(納品時期)

令和〇〇年〇月

(3) 実施場所

岩手公民館

(4) 参加者

会員 28名

(5) 主催・共催・後援団体等とその役割

なし

(6) その他(過去の申請実績・団体の内容紹介・活動実績等・指定文化財の有無)

平成20年 40万円

〇〇市指定無形民俗文化財

団体の内容及び活動実績は、別紙のとおり

《記載内容》若手芸術家・民俗芸能後継者等育成事業  
付表9 企画詳細書

1 事業名												
2 実施期間												
3 項目別実施期間												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
育成対象者募集						●→						
育成対象者選考・決定							●→					
研修・ワークショップ								●→				
制作												
公演・展示												
4 事業の趣旨・目的【審査基準:a】												
若手芸術家等の育成の観点から、事業の趣旨・目的を明確に記載して下さい。												
5 応募分野の現状・課題、求められている人材(ニーズ)等【審査基準:b】												
応募する事業実施が何故必要なのか、その前提となる応募分野の現状・課題について記載して下さい。また、当該分野において、どのような人材が求められているかについて記載して下さい。												
6 育成対象者の概要、決定方法等【審査基準:c】												
育成対象者の人数、経験年数等を具体的に記載して下さい。また、育成対象者の選定について、公募するの可否か、公募する場合どれくらいの期間、どのような周知方法で行うのか、対象者をどの様に決定するか等、詳細に記載して下さい。												
7 事業の具体的な内容、育成対象者の育成方法等【審査基準:c】												
事業内容、どのような手段により育成を行うのかについて、わかりやすく詳細に記載して下さい。例えば、研修やワークショップを行う場合、どのような講師により、どのような内容のものをどのくらいの回数・期間で行うのか、公演・展覧会等を行う場合には、いつ、どれくらいの会場規模で何回程度行うのか等について、詳細に記載して下さい。 なお、同一の趣旨で行われる複数の事業をまとめて申請する場合には、それぞれの事業毎に記載して下さい。												
8 応募事業に関連するこれまでの取り組み、成果等【審査基準:c.f】												
これまでの同種の人材育成事業の取り組み、成果について記載して下さい。												
9 応募事業の今度の計画・発展性、応募分野にもたらす影響等【審査基準:d】												
応募する事業の来年度以降の計画、発展性、また、事業の実施がもたらす影響などについて記載して下さい。												

